



ANNUAL REPORT 2021



共に自分らしく
生きられる社会を作る



特定非営利活動法人アンリーシュ

〒104-0061

東京都中央区銀座一丁目 22 番 11 号銀座大竹ビジデンス 2 階

E-mail : info@unleash.or.jp

HP : <https://aboutus.unleash.or.jp/>

特定非営利活動法人アンリーシュ

2021 年度年次活動報告書



ご挨拶

医療的ケア家族の声にならない叫びに寄り添い続けたい

私がアンリーシュを立ち上げた時、世の中にとっても失望していました。

医療的ケアが必要な娘が生まれたことで、病院・自宅で24時間看護の日々。大好きだった仕事も辞めなければなくなり、社会復帰を希望して20社以上エントリーを出しても、私を快く迎えてくれる会社さんには出会えませんでした。

また当時は医療的ケアで繋がるようなコミュニティはなく、病名不明だった娘を抱えた私はどこにも属する事が出来ずもどかしい日々が続きました。圧倒的な孤独と無価値感の中、「置かれた場所で咲くしかない！」と立ち上げたのがこの団体です。

そんな私の個人的な想いから始めた活動でしたが、暖かな家族・仲間・支援者に支えられて、3年間継続することが出来ました。3年前は、「病気の子供のことを発信するのが怖い」という相談を毎日のように受けていましたが、今では個人が情報発信すること・そして医療的ケアへの理解やサポートも進んできたように感じます。

しかし医療的ケア児者の課題はまだ根深く、これからも取り組むべきものはたくさんあります。アンリーシュにご出演いただいているご家族は本当に一部で、その後ろにはたくさんのご家族の、声にならない叫びがたくさんあります。その1つ1つと真摯に向き合って、例え力不足だったとしても寄り添う気持ちだけは忘れずに進んで参ります。



NPO 法人 代表理事
金澤 裕香

2015年に重症心身障害児で医療的ケア児である長女を出産し、3年に及ぶ付き添い入院を経て在宅介護に移行。経鼻経管栄養・胃ろう・吸入・吸引・在宅酸素療法など様々な医療的ケアを行いながら育児をする。

その際に感じた「医療的ケア児の育児情報の少なさ」「主に母親の長時間介護による社会参加の低下と孤独感」などの課題を解決するためNPO法人アンリーシュを創業し、現在代表理事を務める。

アンリーシュメンバー



成功するまで
やり続ける

代表理事
金澤 裕香



世話好きの
パズクリエイター

チームファシリテーター
生田 克行



知識欲のかたまり

ライター
坂田 奈緒子



アンリーシュの
お母さん

ソーシャルメディア運営
岡田 恵美



笑顔と希望の
発信者

ソーシャルメディア運営
舩井 瑠美



人と人を繋ぐ虹の
架け橋

WEBメディア運営 / アンリーシュ
パートナーコーディネーター
川本 みき



ひまわりのような
暖かい笑顔で人を癒す

WEBメディア運営 / 夢追人
(メッセージ発信)
中村 奏子



想いを運ぶ
情熱のルーキー

イベント企画
石井 まどか



子ども5人の
ママクリエイター

動画クリエイター
平野 るり

アンリーシュとは

アンリーシュは医療的ケア児とご家族に情報や繋がりを届け、安心感を持って自分らしく生きられる社会の実現を目指す NPO 団体です。自宅療養に役立つ情報発信からケア児支援者の社会復帰までをサポートしています。

Vision

私たちが創りたい社会

共に自分らしく生きられる社会を作る

Mission

私たちの使命

応援し合う関係性を育む

Value

大切にしている価値観

個性の尊重による安心感を分かち合う

ロゴに込めた思い

ロゴマークは、植物（葉っぱ）をイメージして制作しました。皆さん、植物を元気に育てたい時はどうするでしょうか？日当たりや土の豊かさ...つまり、自然とすくすくと育つ『環境』作りに注力するのではないでしょうか。劣悪な環境で、「頑張れ！」と植物自体に声をかける人はいませんか。

アンリーシュは、医療的ケア児ご家族の暮らしが豊かになる『世の中（環境）』をつくりたいという意味が込めて、このロゴにしています。



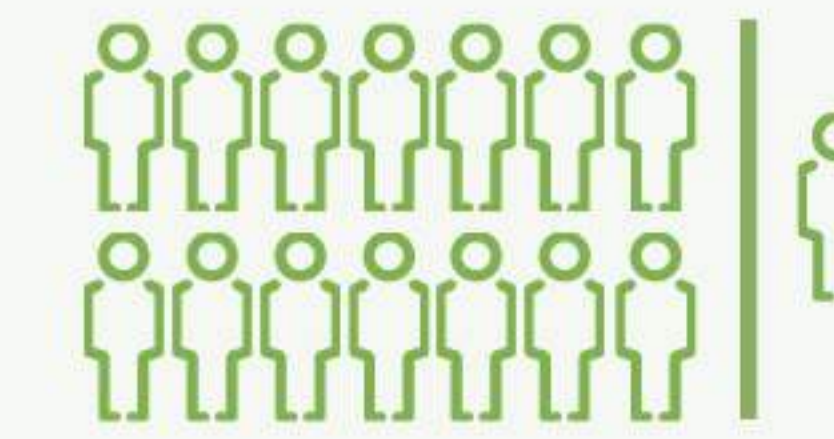
医療的ケア児をとりまく課題

医療的ケア児とは、心身の機能に障害があり、呼吸や栄養摂取、排泄などの際に、医療機器やケアを必要とする子どもたちのことです。日本の新生児医療の発展とともに、今まで救えなかった命が救えるようになった反面、医療的ケア児の数は、この10年で2倍に増加しました。しかし、医療的ケア児をサポートする体制の整備は十分ではなく、医療的ケアに関する情報は不足し、不安や孤独感と戦う家族が増えています。



19,000人

日本の医療的ケア児の数



7%

希望する形態での仕事を
問題なく行えている方の割合



50%

医療的ケアを行う中で、社会
からの孤立を感じる方の割合

01 情報不足

日本に医療的ケアを必要とする子どもは19,000人しかおらず、医療機器の使い方、衛生管理の方法など、専門的な医療的ケア児の子育てに関する情報はほとんどありません。そのため、ご家族は大きな不安と戸惑いに襲われます。

02 孤独感

医療的ケア児は病状が不安定で、預け先が少ないことから、自宅看病中は24時間緊張状態が続き、外部との繋がりも少なく、孤独感を感じます。医療的ケアを行う中で、孤独を感じる方は60%以上います。

03 経済的不安

医療的ケアがある子どもを受け入れている就園・就学先はまだ少ないのが現状です。そのため、親の就労に大きな壁があり、医療的ケアの目的で退職し、社会復帰できる方の割合は2人に1人と、経済的な不安もつきまといまいます。



アンリーシュの4つのアプローチ

アンリーシュは医療的ケア児とご家族に情報や繋がりを届け、安心感を持って自分らしく生きられる社会の実現を目指す NPO 団体です。自宅療養に役立つ情報発信から医療的ケア児支援者の社会復帰までをサポートしています。

ターゲット

子どもを産んだばかりの
医療的ケア児ご家族

情報がない、
どうしたらいいかわからない



STEP 01 情報不足・不安の解消

医ケア生活の情報を届ける

医療的ケア児者支援事業

オウンドメディア、Youtube、SNS を通して、医療的ケアに関する情報を収集・発信し、支援者に必要な情報を届けています。



サポートが必要な
医療的ケア児ご家族

同じ境遇の家族とつながりたい、
支援を受けたい



STEP 02 共感・サポートの充実

共感や社会とのつながりを届ける

イベント運営事業

様々なイベントを通して医ケア家族同士が繋がりをもつ場や、医ケア家族ならではの悩みを解決できるようなプロジェクトを運営しています。



在宅看病で孤独を感じる
医療的ケア児ご家族

コミュニティで活動したい

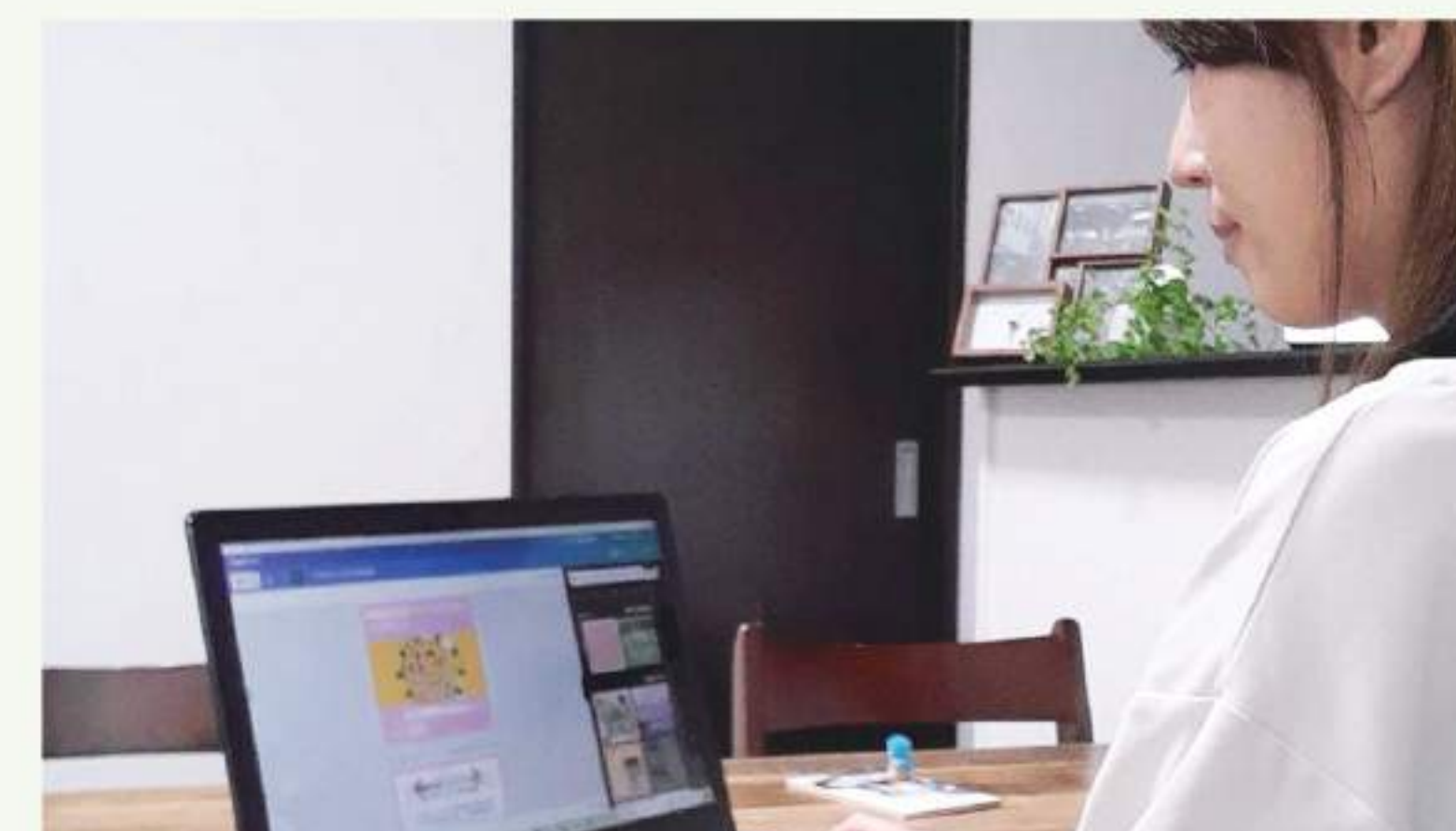


STEP 03 所属感や安心感の充足

自宅療養する医ケア家族に
リモートワークの場を

在宅就労支援事業

アンリーシュでは完全オンライン型のコミュニティを運営し、メディア運営ノウハウスキルの共有やメンバー間の支え合いを支援することで、安心感や実現をサポートしています。



自立を目指す
医療的ケア児ご家族

自分らしく生きていきたい



STEP 04 経験を活かして社会へ貢献

企業連携を通して医ケア家族が
輝ける場を

企業連携事業

オンラインのできる事業の委託や医療的ケアの経験を伝える社員研修を実施しています。安心感や実現をサポートしています。



アンリーシュの事業

医ケア生活の情報を届ける

医療的ケア児者支援事業

アンリーシュの
各メディアは
こちらで確認！

■ 取り組む課題

1,000人に1人の割合で生まれる医療的ケア児の子育てに関わる情報は少なく、自宅で支援するご家族は不安と孤独感に駆られます。



出典：厚生労働省令和元年度障害者雇用総合福祉推進事業「医療的ケア児者とその家族の生活実態調査」

■ アプローチ

医療的ケア児とご家族が安心して療養生活を送れるよう、オウンドメディア、Youtube、SNSの3つの媒体を通じて医療的ケアに関わる専門的な情報の発信をしています。

Youtube 動画「アンリーシュ日記」

自宅療養の様子や親子の日常を10分ほどの動画で発信しています。呼吸器をつけた生活や鼻チューブの交換方法などケアに役立つ工夫のほか、家族のリアルな苦悩や喜びも伝えることで、他の医療的ケアのご家族からも「アンリーシュさんの動画が心の支えになっている」とのお声をいただいています。



本事業年度の動画公開数

51本

チャンネル登録者数

17,300人以上

オウンドメディアサイト「unleash」

医ケア児ママの体験談からお役立ち資料、用語集まで幅広く情報を発信しており、医療的ケアに関わる情報のプラットフォームとしての役割を果たしています。

本事業年度の
記事公開数

82記事

本事業年度の
延べ訪問ユーザー数

384,246ユーザー

SNS

より気軽に医療的ケアの勉強ができるよう、Instagram、Twitter、Facebook、Tiktokの4つの媒体で、医療的ケア児に関する情報を発信しています。Instagramでは、医療的ケアの豆知識やお役立ち情報、Twitterではイベントの告知なども行っています。

今年度から
Tiktok 始めました！

メディアに寄せられたコメント



将来病棟保育士さんを目指している中学三年生です。アンリーシュさんの動画は医療ケアの必要なお子さんを育てている親御さんの気持ちや工夫がよく分かるので、よく見させて頂いています。親御さんにも、お子さんにも心から寄り添える病棟保育士さんになれるように頑張ります。(Youtubeより)



私も去年気管切開して今は塞いでいますが辛いことがたくさんありました。(かなこさんは)こんなにきれいに声が出て明るくてすごく勇気がもらえます。私だけじゃなくてたくさんいらっしゃると思います！(Instagramより)

運営するサポーターズの声



事務局として全体をみつつ、時にはアドバイスや意見を伝え、どうすればよりわかりやすい発信ができるかをみんなで考え活動しています。これからもより多くの方々にアンリーシュを知ってもらえるよう広報活動にも力を入れていきたいと思っています。(WEBメディア担当 川本みき)

イベント運営事業

■ 取り組む課題

医療的ケア児の支援者は自宅から離れられないことで、外部との関わりを失い、悩みや不安を打ち明けられる人や、共感や社会とのつながりの場が不足しています。

■ アプローチ

様々なイベントを通して、医ケア家族同士が繋がりをもつ場や、医ケア家族ならではの悩みを解決できるようなプロジェクトを運営しています。現在は不定期開催ではありますが、イベントの開催から長期的な事業の運営も視野に入れつつ、医ケア家族と社会をつなぐ役割をしていきたいと考えています。

医療的ケア児の就学事例集

医療的ケア児が普通学校に通えるようにしたい

「これまで医療的ケアを必要とする子を受け入れた前例がないから・・・」といった理由で、医療的ケア児が普通学校に行けず、進路を限定されてしまうケースが続出しています。

そこで日本全国から、医療的ケアがあっても普通学校に入れたケースや人工呼吸器があってもバスに乗れた事例などを集め、「医療的ケア児の就学事例集」を作成しました。こちらの冊子を全国の教育委員会や学校に配布する予定です。

事例集の作成にあたり、クラウドファンディングも行いました！ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



期間

2021/10/11~2021/11/26

支援総額

1,650,582 円

二枚目の名刺 × アンリーシュコラボイベント

医療的ケア児の認知向上を目的とした小学校での特別授業

2022年5月20日に埼玉県戸田第二小学校の6年生を対象に、医療的ケア児の認知向上を目的とした授業を実施。道徳の時間を利用し、胃ろうの生徒の日常を題材にして「やさしい人になるには」を子どもたちと考えました。問いかけや対話を通して、「違いを認めるとはどういうことか」「優しい人ってなんだろう」と子どもたちが考えるきっかけになりました。



家族写真イラストプレゼント

家族写真が撮れない家族がいます。

医療的ケア児は、入院生活が長く、きょうだいや家族と会えない子がいます。「子どもが入院していて会えない」「先に天国に行ってしまった」「家族全員笑顔の写真が欲しい」など、様々な理由から家族写真が撮れないご家族を対象に、複数の個人の写真を合成し、一枚の家族写真としてイラスト化して、プレゼントしています。

20 家族

イラストをプレゼントした家族の数



我が家は息子の医療ケアを「生きる為のパートナー」生まれつきの奇形を「宝楽の個性」として考えており、ありのままの姿を描いて頂きました。出来上がった時は、我が家の明るさを写真から汲み取って表現されているイラストにとっても感動しました(^^)

宝楽の一生懸命生きる足跡として大切に飾らせて頂きます。素敵な企画とイラストをありがとうございました♪

STEP

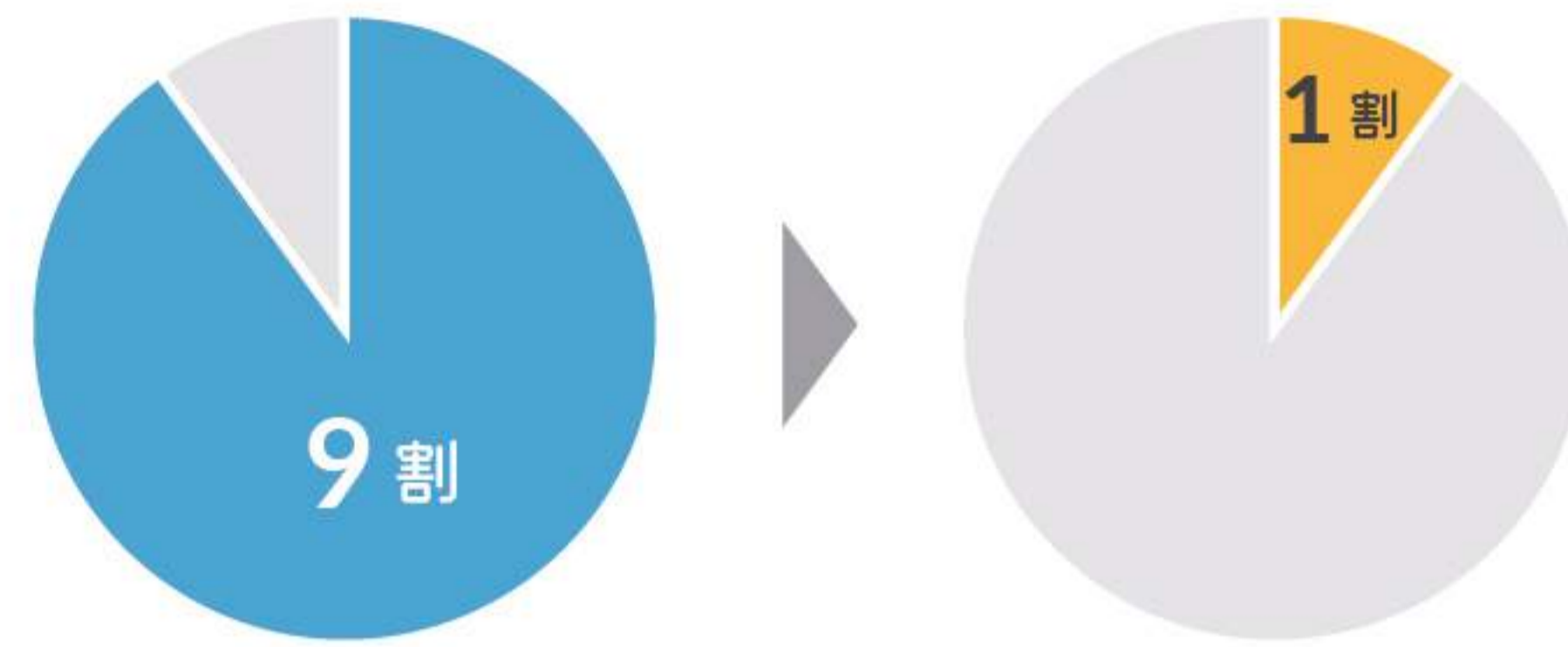
3

自宅療養する医ケア家族にリモートワークの場を

在宅就労支援事業

■ 取り組む課題

医療的ケアが必要な子どもを受け入れている就園・就学先はまだ少なく、自宅療養しながらの就労には大きな壁があります。



「希望する形態で仕事につくこと」を希望している家族

「問題なく行えている」と答えた家族

出典：厚生労働省令和元年度障害者雇用総合福祉推進事業「医療的ケア児者とその家族の生活実態調査」

■ アプローチ

共に医療的ケア児とご家族を支える「アンリーシュボランティア」

アンリーシュの活動や理念に共感いただいた方々はボランティア（一部有償）としてアンリーシュの活動に携わることができます。SNSでの情報発信やYoutube動画への出演など完全リモートで出来るお仕事メンバーの方へお願いしています。

アンリーシュでの活動が、所属感や安心感を感じられるきっかけとなります。



メディアに寄せられたコメント



運営メンバー岡田 恵美さん

医療的ケア児の娘の育児をするなかでアンリーシュと出会い、「私も医療的ケア家族のためにできることをしたい！」と思うようになりました。現在、SNS発信を担当させていただき、発信した記事にコメントや応援の声をいただき嬉しく思っています。活動メンバーやサポーターズの皆さんとの繋がりは私の宝物だと感じています。

STEP

4

企業連携を通して医ケア家族が輝ける場を

企業連携事業

■ 取り組む課題

医療的ケアの経験を社会に活かせる場は不足しており、ご家族の社会復帰の難しさも課題です。また、医ケア家族への直接のサポートだけでなく、企業との連携で医療的ケア児の課題を社会に働きかけることで、医ケア家族を取り巻く環境そのものの改善もしていきたいと思っています。

■ アプローチ

オンラインでできる事業の委託や医療的ケアの経験を伝える社員研修を実施しています。



医療的ケアの視点から商品を紹介するメディア広告事業

Yogibo さま
yogibo
SOCIALGOOD

アンリーシュ Youtube 動画にてストレスフリーで過ごせるビーズソファ Yogibo 様の商品を紹介させていただきました。



医療的ケアの視点を学ぶ新任基幹研修

EA ファーマ株式会社さま EAファーマ株式会社

EA ファーマ株式会社様の新任基幹研修として医療的ケアに関わる家族の課題と解決策を考えるワークショップを行いました。



Holy Angel さま

当事者ご家族・施設を結び、サービスを実際に体験していただきました。

ハートポケット倶楽部

KAO ハートポケットクラブさま

医療的ケア児への理解を深めるため、作文コンテストを実施しました。

応援くださる皆さまの声

私は現在、重症心身障害児の放課後デイサービスで看護師をしています。色々なことがきっかけで新卒で”重心”という分野にきたので看護の基本的な事、子供たちとの接し方もわからず悩んでいたとき YouTube でアンリーシュのことを知りました。ケアやコミュニケーションの取り方など私が求めていたことが載っていて悩んでいた私にとっては奇跡の出会いでした。見ていくうちに心の支えになり、職場の子供たちと関わるのが楽しくなりました。サポーターズ同士でも絆ができ悩みを相談できるので今のわたしにとって大きな存在です。



サポーターズ



アンリーシュフレンズ

医療的ケア児の母親になり、経験すること全てが初めての連続で、分からないことだらけでした。自分達が経験するまで、それは決して明るいイメージではありませんでした。ですが、医療的ケアが必要な娘との暮らしは実際にはとても楽しく、幸せでキラキラとしています。そんな毎日には情報や仲間が欠かせません。病気や障害を抱えた子たちが生きていく世の中が今よりもっとより良いものになることを願って、アンリーシュさんの動画に娘の姿を残させていただきました。“かわいそう”じゃなく、一生懸命に生きる命があるんだよということが一人でも多くの方に伝わったらとてもとても嬉しいです。

エス・エム・ディ株式会社は、病院や薬局へのスペシャリティ製品（少量生産、少量消費の医薬品等）の流通を担う医薬品卸売企業です。私たちは、希少疾病等で治療を必要とする方々の元へいち早くお薬をお届けし、多くの人に笑顔になってもらいたいと考えています。その想いから、患者さんや医療関係者等に対して疾患啓発活動を中心とする様々な取り組みをおこなっています。

アンリーシュ様による「暮らしやすい社会を創るための情報発信」、特に患者さま・ご家族・ご支援者さまによるポジティブなメッセージ動画には、大変共感するとともに強く感銘を受けました。今後もアンリーシュ様と協力し患者さまの暮らしに寄り添った活動を実施して参りたいと考えています。



エス・エム・ディ株式会社
企業

● 応援くださるみなさま ●

皆さまのご支援に支えられています。
今年も多くのお応援をいただき誠にありがとうございました。



寄付金額	4,655,134 円	アンリーシュ サポーターズ	40 人
------	-------------	------------------	------

● メディア実績 ●

今年度も多数のメディアに出演いたしました。ご関心のある方は、アンリーシュのお問合せから取材のご依頼をお願いいたします。

日付	媒体
2021年4月27日	NHK ラジオ N ラジに出演
2021年5月11日	NHKE テレハートネット TV に2夜連続出演
2021年12月21日	テラコプラス by Ameba に掲載
2022年4月17日	オレンジページに掲載

科目	金額	小計・合計
【A】 経常収益		
① 受取会費		1,000,000
正会員受取会費		
賛助会員受取会費	1,000,000	
② 受取寄附金		4,655,134
受取寄附金	4,655,134	
施設等受入評価益		
③ 受取助成金等		0
受取補助金		
④ 事業収益		3,378,463
事業収益	3,378,463	
⑤ その他の収益		1
受取利息	1	
経常収益計		9,033,598
【B】 経常費用		
① 受取会費		
① 人件費		2,780,212
役員報酬	2,484,000	
法定福利費	296,212	
② その他経費		4,321,660
旅費交通費	462,698	
消耗品費	379,612	
交際費	206,296	
会議費	272,526	
広告宣伝費	42,149	
賃借料	13,320	
新聞図書費	1,000	
租税公課	1,102	
外注費	4,300	
法定福利費	2,622,294	
雑費	204,541	
支払手数料	111,822	
事業費計		7,101,872
② 管理費		
① 人件費		339,834
役員報酬	276,000	
法定福利費	63,834	
② その他経費		4,673,958
会議費	4,683	
通信費	12,419	
消耗品費	16,672	
賃借料	2,178	
保険料	20,000	
雑費	82,267	
支払手数料	54,390	
交際費	22,922	
広告宣伝費	1,480	
新聞図書費	123	
地代家賃	1,023,356	
研究費	3,433,568	
管理計		5,013,792
経常収益計		12,115,664
当期経常増減額【A】 - 【B】・・・①		3,032,066
【C】 経常外収益		
固定資産売却益		
過年度損益修正益		
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		
固定資産売却損		
災害損失		
過年度損益修正益		
経常外収益計		0
当期経常外増減額【C】 - 【D】・・・②		0
取引前当期正味財産増減額 ① + ②・・・③		3,032,066
法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
前期繰越正味財産額・・・⑤		2,055,735
次期繰越正味財産額 ③ - ④ + ⑤		1,096,331

ご支援のお願い

医療的ケア児とご家族が自分らしく生きていけるよう、
様々な方法でアンリーシュの活動にご参加お願いいたします。

ご寄付で応援



継続的なご寄付で応援

毎月のご寄付で継続的に、安定的に医療的ケア児と家族の支援をすることができます。月々1,000円～から、クレジットカードでのご寄付が可能です。



都度のご寄付

1回きりで、自由な金額をご寄付いただけます。クレジットカードと銀行振り込みでのご寄付が可能です。



遺贈寄付・相続財産でのご寄付で応援

遺産や相続財産でご寄付いただけます。お問い合わせからご連絡ください。

他の方法で応援

yogibo
SOCIALGOOD

購入費の5%が広告費として支払われます。



不要になった本やCD・ゲーム・おもちゃなどを通じてのご寄付です。

つながる募金

ソフトバンクポイントを使ってのご寄付です。

ご支援のお問合せは、アンリーシュ事務局まで

E-mail

info@unleash.or.jp



ご支援の詳細・お申し込みはこちらから